



1-1 建物概要

建物名称	個人住宅	
竣工年月	2020年12月	竣工
建設地	横浜市金沢区柳町	
用途地域	第一種低層住居専用	確定
省エネルギー地域区分	6地域	
構造・構法	木造・在来工法	確定
階数	地上2階建	
敷地面積	142 m ²	確定
建築面積	56 m ²	確定
延床面積	112 m ²	
世帯人数	4	仮

仕様等の確定状況	建物の仕様 持ち込み家電等 外構の仕様	確定 一部確定 仮
<備考> ●外構は未定での評価となります		
評価の実施日	2020年7月3日	
作成者	星 直志	
確認日	2020年7月3日	
確認者	星 直志	

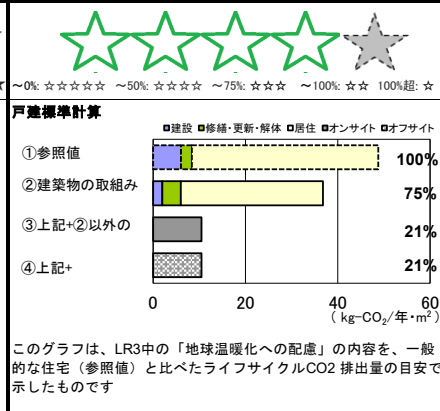
1-2 外観



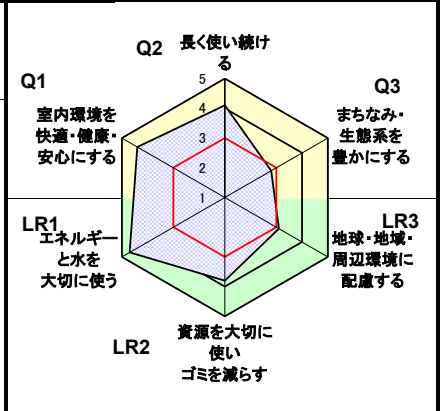
2-1 戸建の環境効率 (BEEランク&チャート)



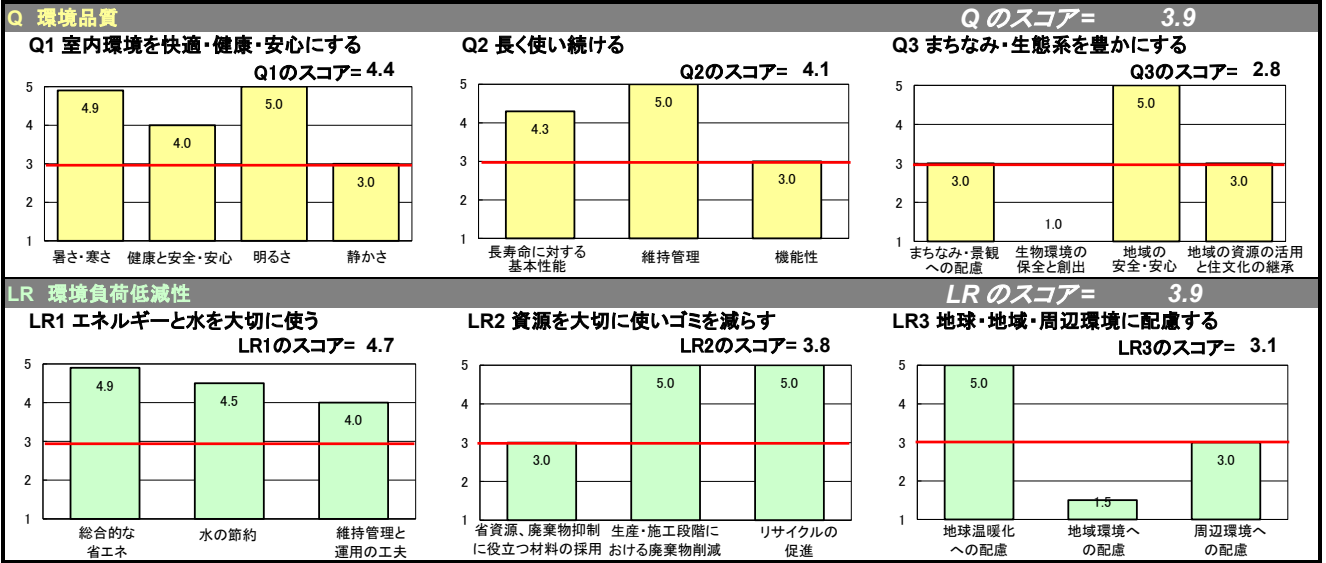
2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)



2-4 中項目の評価 (バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合 BELSの評価によるZEH基準に対応する住宅の実現。長期優良住宅認定や住宅性能評価書で耐震等級3を取得することで、環境負荷が少ない安心して長く住み続けることができる住宅としている	その他 ・横浜市ZEH普及促進補助事業	
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする ●樹脂サッシ+LOW-Eガラス採用で断熱等級4を確保、二方向の開口配置による適切な通風計画、主要居室のACIによる適切な冷暖房計画●第3種換気システムによる健康配慮、LDK南面の大開口サッシによる明るさを確保	Q2 長く使い続ける ●耐震等級3、耐風等級2、劣化等級3、維持管理等等級3を確保	Q3 まちなみ・生態系を豊かにする ●柳町建築協定●建物を道路側から離して圧迫感のない建物配置による、まちなみ、景観への配慮
LR1 エネルギーと水を大切に使う ●高効率エアコン、ハイブリッド給湯器、節湯水栓等による省エネ●太陽光発電による創エネ●高度エネルギーマネジメント、HEMSにより発電量を把握し住宅内の冷暖房設備、給湯設備等の制御が可能	LR2 資源を大切に使いゴミを減らす ●内装:省資源・廃棄物抑制材料の使用(石膏ボード)●生産段階の建材メーカーがISO14001取得●使用メーカー、型番の情報等を提供	LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (環境品質)、L: Load (環境負荷)、LR: Load Reduction (環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (環境効率)
 ■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEE-戸建(新築)の場合、BEE₁₁、Q₁₁、LR₁₁などとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
 ■「ライフサイクルCO₂」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q₁₂、LR₁₁中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される(「戸建標準計算」の場合)
 ■ライフサイクルCO₂の算定条件等については、マニュアルおよび「CO₂計算」シートを参照されたい



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

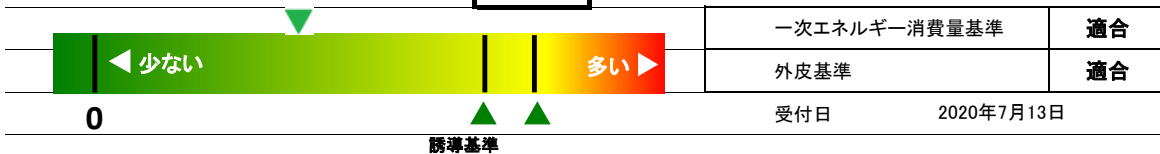
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **個人住宅**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **5**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 **54** %削減



■エネルギーを大切に使う (①建物の工夫 ②設備の性能 ③維持管理と運用)

- ①太陽光パネルを設置しZEH仕様達成
- ②省エネ基準達成の冷蔵庫を計画
- ③HEMSにより発電量を把握し住宅内の冷暖房設備、給湯設備等の制御が可能

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **5**

■室内環境対策 (④暑さ・寒さ)

◆断熱等性能等級 等級4を超える (相当)

④ダブル断熱、樹脂サッシ、LOW-E複層 日射遮蔽型を採用

■室内環境を快適・健康・安心にする (⑤健康と安全・安心)

⑤化学汚染物質に配慮した内装仕上げ・天井裏下地材

■その他の対策 (⑥自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 **あり**

⑥すべての居室において、二方向開口部を設け夏の暑さを防ぐ

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防 災】 **5**

■災害に備える (⑦災害に備える ⑧長寿命に対する基本性能 ⑨地域の安全・安心)

⑦太陽光発電システムの連携により一時的な自立が可能

⑧住宅設計性能評価・長期優良住宅による劣化対策等級3

⑧住宅設計性能評価・長期優良住宅による耐震等級3

⑨消火活動空間、避難経路の確保

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **2**

■まちなみ・生態系を豊かにする (⑩まちなみ・景観への配慮 ⑪生物環境の創出)

太陽光発電などの導入



太陽光利用

エネルギーマネジメントシステム導入

HEMS

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

蓄熱設備



CASBEE横浜[戸建] (2017年版)
個人住宅

バージョン : CASBEE横浜[戸建]2017年版v.1.4

スコアシート				
配慮項目	重点項目	評価点	重み係数	全体
QH すまいる環境品質		-	-	3.9
QH1 室内環境を快適・健康・安心にする		-	0.45	4.4
1 暑さ・寒さ		4.9	0.50	4.9
1.1 基本性能		4.8	0.50	-
1 断熱等性能の確保	健康・安心 ④暑さ・寒さ	5.0	0.80	-
2 日射の調整機能	健康・安心 ④暑さ・寒さ	4.0	0.20	-
1.2 夏の暑さを防ぐ		5.0	0.25	-
1 風を取り込み、熱気を逃がす		5.0	0.50	-
2 適切な冷房計画		5.0	0.50	-
1.3 冬の寒さを防ぐ		5.0	0.25	-
1 適切な暖房計画		5.0	1.00	-
2 健康と安全・安心		4.0	0.30	4.0
2.1 化学汚染物質の対策	健康・安心 ⑤健康と安全・安心	5.0	0.25	-
2.2 適切な換気計画	健康・安心 ⑤健康と安全・安心	3.0	0.25	-
2.3 犯罪に備える	健康・安心 ⑤健康と安全・安心	3.0	0.25	-
2.4 災害に備える	防災 ⑦災害に備える	5.0	0.25	-
3 明るさ		5.0	0.10	5.0
3.1 屋光の利用		5.0	1.00	-
4 静かさ		3.0	0.10	3.0
QH2 長く使い続ける		-	0.30	4.1
1 長寿命に対する基本性能		4.3	0.50	4.3
1.1 躯体	防災 ⑧長寿命に対する基本性能	5.0	0.30	-
1.2 外壁材		4.0	0.10	-
1.3 屋根材・陸屋根		3.0	0.10	-
1.4 自然災害に耐える	防災 ⑧長寿命に対する基本性能	5.0	0.30	-
1.5 火災に備える		3.3	0.20	-
1 火災に耐える構造		3.0	0.65	-
2 火災の早期感知		4.0	0.35	-
2 維持管理		5.0	0.25	5.0
2.1 維持管理のしやすさ		5.0	0.65	-
2.2 維持管理の計画・体制		5.0	0.35	-
3 機能性		3.0	0.25	3.0
3.1 広さと間取り		3.0	0.50	-
3.2 バリアフリー対応		3.0	0.50	-
QH3 まちなみ・生態系を豊かにする		-	0.25	2.8
1 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり ⑩まちなみ・景観への配慮	3.0	0.30	3.0
2 生物環境の創出		1.0	0.30	1.0
2.1 敷地内の緑化	地域・まちづくり ⑪生物環境の創出	1.0	0.65	-
2.2 生物の生息環境の確保	地域・まちづくり ⑪生物環境の創出	1.0	0.35	-
3 地域の安全・安心	防災 ⑨地域の安全・安心	5.0	0.20	5.0
4 地域の資源の活用と住文化の継承		3.0	0.20	3.0
LRH すまいる環境負荷低減性		-	-	3.9
LRH1 エネルギーと水を大切に使う		-	0.35	4.7
1 総合的な省エネ		4.9	0.75	4.9
1.1 躯体と設備による省エネ	省エネルギー性能 ①建物の工夫	5.0	0.90	-
1.2 家電・厨房機器による省エネ	省エネルギー性能 ②設備の性能	4.0	0.10	-
2 水の節約		4.5	0.15	4.5
2.1 節水型設備		5.0	0.75	-
2.2 雨水の利用		3.0	0.25	-
3 維持管理と運用の工夫		4.0	0.10	4.0
3.1 住まい方の提示	省エネルギー性能 ③維持管理と運用	3.0	0.50	-
3.2 エネルギーの管理と制御	省エネルギー性能 ③維持管理と運用	5.0	0.50	-
LRH2 資源を大切に使いゴミを減らす		-	0.35	3.8
1 省資源、廃棄物抑制に役立つ材料の採用		3.0	0.60	3.0
1.1 構造躯体		3.0	0.30	-
1 木質系住宅		3.0	1.00	-
2 鉄骨系住宅		3.0	-	-
3 コンクリート系住宅		3.0	-	-
1.2 地盤補強材・地業・基礎		3.0	0.20	-
1.3 外装材		3.0	0.20	-
1.4 内装材		3.0	0.20	-
1.5 外構材		3.0	0.10	-
2 生産・施工段階における廃棄物削減		5.0	0.30	5.0
2.1 生産段階(構造躯体用部材)		5.0	0.33	-
2.2 生産段階(構造躯体用以外の部材)		5.0	0.33	-
2.3 施工段階		5.0	0.33	-
3 リサイクルの促進		5.0	0.10	5.0
3.1 使用材料の情報提供		5.0	1.00	-
LRH3 地球・地域・周辺環境に配慮する		-	0.30	3.1
1 地球温暖化への配慮		5.0	0.33	5.0
2 地域環境への配慮		1.5	0.33	1.5
2.1 地域インフラの負荷抑制		2.0	0.50	-
2.2 既存の自然環境の保全		1.0	0.50	-
3 周辺環境への配慮		3.0	0.33	3.0
3.1 騒音・振動・排気・排熱の低減		3.0	0.50	-
3.2 周辺温熱環境の改善		3.0	0.50	-